

サマーナイトソフトボール大会

スローピッチ・ソフトボール（ファストピッチとの主な違い）

- (1) チームは10名、エキストラヒッターを採用したときは11名で編成する。守備プレイヤーの編成は、投手、捕手、一塁手、二塁手、三塁手、遊撃手、左翼手、左中堅手、右中堅手、右翼種である。
- (2) リエントリールール（スターティングプレイヤーの元の打順への再出場）は採用する。
- (3) 指名打者（DH）制は採用しない。
- (4) エキストラヒッター※（EH）制は採用してもよい。
※エキストラヒッターとは、打撃専門のプレイヤーのことである。
ア. エキストラヒッターはEHのゼッケンを着用する。
イ. エキストラヒッターの人数は常時1人で、試合開始から試合終了まで継続しなければならない。
ウ. エキストラヒッターの打順はその試合中同じ順位である。
エ. エキストラヒッターはいつでも、代打者・代走者と交代できるが、その交代したプレイヤーが、次のエキストラヒッターとなる。その交代するプレイヤーは、その試合にまだ出場していないプレイヤーでなければならない。
オ. エキストラヒッターは、他のプレイヤー同様、スターティングメンバーであれば、リエントリーすることができる。
- (5) 投手の投球練習は、1回目は3球以内、その後は1球とする。
- (6) 投球は、手が最初に腰を通過するときの前方へのスイングで、投球しなければならない。
- (7) 投球が打たれなかったときは、ボールデッドである。
- (8) 投球が、いったんホームプレート前方の地面やホームプレートに落ちたらボールデッドで、カウントはボールとなる。
- (9) 投球は本塁に達するまでの間、地面から3m以下、1.5m以上の空間を、アーチを描くように投げなくてはならない。
- (10) 上記(9)に違反した投球を打ったとき、および空振りをしたときには不正投球にならない。
- (11) 不正投球による進塁はなく、打者にワンボールを与える。
- (12) 球動作中またはバックスイング中、投手の手から球がスリップしたときは、無効投球である。
- (13) 死球による出塁は認められない。（ストライクゾーン外で打者に触れたときは、ボール。）
- (14) 投球準備動作のときに、投手板には片足だけが触れていればよい。（また、球は片手で保持していてもよい）
- (15) 打者を敬遠（故意四球）したいときは、その旨を球審に告げるにより、直ちに打者を一塁へ進塁させることができる。
- (16) 打者はバントまたは、チョップトヒットをするとアウトになる。（チョップトヒットとは、打球を高く弾ませるために、打者がバットを振りおろすようにして地面にたたきつける打ち方をいう）
- (17) ツーストライク後の打球がファウルボールになった場合、打者はアウトになる。
- (18) 捕手は投球を受けたならば、走者がいる、いないにかかわらず、直接、投手に返球しなければならない。
- (19) すべてのプレイが完了し、内野でプレイヤーが球を保持したとき、“タイム”を宣告する。
- (20) 投手が球を手にして投球板に触れたとき、自動的にボールインプレイになる。
- (21) 走者の盗塁はできない。
- (22) アピールは、ボールデッド中でもできる。